

## かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

### #42 令和3年3月24日 いのちをつなぐ～動物愛護センターの取組～

みなさん、こんにちは。3月24日かわさきコロナ情報をお伝えします。

本日、これから発表する新たな陽性患者数でありますけれども、まだ推定値でありますけれども、おそらく40人という形になりそうです。これまで大体20人台を前後してましたので、ちょっと今日から増えたなという感じを受けています。

先日の日曜日に緊急事態宣言が解除されまして、みなさんの気持ちの上でも少し自由になったなっていうことはあると思いますが、引き続き万全の感染防止対策を行っていただいて、何とかこの20人台ぐらいまでしっかりと下げ続けられるように皆さんの御協力をお願いしたいと思います。

今日は、人の命も動物の命もともに大事ということで、この動物の命をつなぐ場として運営している川崎市の動物愛護センターの取組についてお伝えしたいと思います。

もう1年以上コロナ禍が続いて、ペットを新たに飼おうという方が非常に増えていると聞いています。そこでやはり当然のことではありますが、留意していただきたいのはペットの命っていうのは本当に大事ということで、一生涯面倒を見る、一緒に家族として飼っていくという気持ちで飼っていただくということが何より大事だと思います。そこで今日は、どんな取組を行っているのかということを知っていただいて、皆さんと考え方を共有させていただきたいと思います。

では、御覧ください。

#### 動画

=====

(動物愛護センター所長)

コロナ前から、動物を入れるにあたっては感染症対策ということはしていました。ただ、人が入られることによる感染症対策として、コロナになってからは、施設の供用部分の消毒ですとか、それからソーシャルディスタンスの確保、入館制限等を行っております。皆様が施設を気持ちよく利用していただくために、例えばドアノブですとかエレベーター周りですとか、皆様が使われる場所については消毒を行っています。コロナの前と後では、市民の皆様、あるいは全国の皆様から御寄付をいただくこと一寄付の量が増えているように感じています。それによって、いろいろな動物に合った餌を与えたり、飼養管理がスムーズになったりしていますので、とてもありがたいと思っています。譲渡会につきましては、定期譲渡会ということでたくさんの方に見ていただくことはできないんですけれども、一件一件個別にお話をさせていただくことで、動物たちの幸せと新しく飼い主になってくださる方の新しい生活がうまくイメージできるかどうかという点で、スムーズに譲渡ができていると考えています。

(動物愛護センター 動物看護師)ー動物の名札についてー

私と一緒にいたほかの看護師さんが描き始めたのがきっかけで、譲渡会するとき、当時は廊下にケージごと猫を出して、その子たちが少しでも目立ってほしいなっていう、ちょっと注目を集められるんじゃないかっていうのでかわいい名札をつけてみようっていうので始めたのが最初のきっかけで、その始められた看護師さんが退職されて、そのまま私が引き継いで描かせていただいている形です。名札から、この子がどういう子なのかなっていうのをちょっとイメージしてもらえたり、どうしてこういう名前なん

だろうとか、そういうその子に対して興味を持ってもらえるきっかけになるような、その子がどういう子なのかっていうのがちょっとでも伝わるようなものが作れたらなとは思っています。新しい飼い主さんで「名札ほしいです」って言うてくださる方もいて、その方は名前もセンターでつけたままにしてくださったりもするので、そういうところは嬉しいなちょっと思っていたり。あとは見学者の方も、こんなに動物一匹一匹に手をかけて気にかけてくださっているっていうのを知っていただくきっかけになるので、とても嬉しい声を聞いてます。

(動物愛護センター 企画担当係長)

新しい家族を見つけるまでの一時的な場所ですので、そういった一時的な場所であっても、動物にとって幸せな暮らしができるように飼養環境を整えています。

譲渡会なんですけど、今までは定期譲渡会としまして、毎月日曜日に定期的を実施をしていたんですけれども、それがコロナが発生して、そういった人を集めて行う譲渡会というのはできなくなりました。そのために、個別に譲渡相談を承りまして、譲渡を希望される方に御来館いただきまして、譲渡を促進しています。

まずは見てもらうということが一つです。普段、動物の様子っていうのはなかなか見えない、お伝えできないと思いますので、普段の動物の様子っていうのを見てもらっています。

あとはやはり写真ですね。可愛い写真をたくさん撮って、その中でもベストショットを選んで投稿するようにしています。まず見栄えを良くするっていうことの工夫をしています。

(動物愛護センター 所長)

いろいろな条件・状況で動物たちが入ってきます。その動物たちの過去のことは、私たちは分からないことが多いです。それでも、その動物の幸せのために、新しい飼い主さんになっていただく方を探す。そのときに、新しい飼い主さんも、いろいろな夢であったり思いを持って来ていただくことが多いです。必ずしも、その方の環境であったり、あるいは条件であったり、それによっては動物と御希望とうまく合わない場合があります。そのときは、新しい提案をさせていただいたり、あるいは今は飼うのを少しお考えになってはいかががでしようかということ、あえてお伝えさせていただくこともあります。

それは動物たちのこともそうですけれども、市民の皆様にも、その後その動物によって幸せを得ていただくと、一緒に幸せになっていただくということを、是非実現していただきたいという思いからですので、御理解をいただければと思います。

=====

御覧いただいたように、動物愛護センターも命をつなぐ場所として、これまで多くの方たちに御来場いただいで譲渡会というのをしていたのですが、ソーシャルメディアなどを通じて、予約制で譲渡会を行ったりという取組を工夫して行っています。

これからは新たに動物を飼おうと思っておられる方、やはり先ほど申し上げたような終生飼養していくんだという思いと同時に、新たに飼う方、こういった譲渡会というのも、もう一つの選択肢、いのちを「つなぐ」、あるいは「まもる」ということにも繋がっていきますので、そういった選択肢もあるということを知っていただければと思っています。

人の命も動物の命もともに大切な命です。是非それを考えていただく機会にさせていただければと思っています。